

第 17 回全国障害者スポーツ大会(愛顔<sup>えがお</sup>つなぐえひめ大会)  
卓球競技実施要領

1 競技規則

平成 29 年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則(公益財団法人日本障がい者スポーツ協会制定)によるもののほか、この要領の定めるところによる。

2 競技方法

- (1) 競技種目は、一般卓球とサウンドテーブルテニス(以下「STT」という。)とし、5ゲームズマッチ(1ゲームは11点)で行う。
- (2) 試合は、各ブロックのリーグ戦方式で行う。
- (3) 各ブロックは4名以内とし、原則として同一の障害区分及び年齢区分の選手で構成する。
- (4) 出場選手の少ない障害区分及び年齢区分では、別の障害区分及び年齢区分の選手と併せて同一ブロックを構成することがある。ただし、順位の決定、記録の認定及び表彰は、それぞれの障害区分及び年齢区分別に行う。

3 競技用具・競技条件等

(1) 一般卓球の競技用具

- ア 卓球台は、ブルーを使用する。
- イ 使用球は、公益財団法人日本卓球協会公認プラスチック球 40 mm(白球)とする。
- ウ 競技領域は、長さ8 m以上、幅5 mとする。

(2) STTの競技用具・競技条件

- ア 卓球台は、グリーンを使用する。
- イ 使用球は、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会公認プラスチック球とする。
- ウ 主催者が用意したアイマスクを着用すること。
- エ 競技領域は、長さ5 m、幅4 m以上とする。

4 服装等

- (1) 競技用服装は、公益財団法人日本卓球協会が公認したマークの付いたものでなければならない。身体の障がい等により日本卓球ルールで定められた服装の着用が困難な者は、事前に「服装緩和措置申請書」を審判長に提出し、許可を得ること。
- (2) 主催者が交付した番号布(ゼッケン)を競技用服装の背部に付けること。
- (3) 義肢や松葉杖を使用する選手は、特に支障がない限り、接触面にあてがう布やカバー等を用意すること。

## 5 選手招集

- (1) 選手招集時刻は、試合開始 15 分前とする。
- (2) 選手招集時刻に遅れた選手は、原則として棄権したものとみなし、試合に出場できない。

## 6 開始式・表彰式

- (1) 開始式
  - ア 開始式は、競技開始前に競技会場で行う。
  - イ 選手は開始式 5 分前までに会場の指定された場所に集合すること。
- (2) 表彰式  
表彰式は、競技終了後に競技会場で行う。

## 7 その他

- (1) 競技場内へは、選手、監督、コーチ、大会役員、競技役員、競技補助員、実施本部員、情報支援ボランティア及びあらかじめ許可された介助者、報道関係者、視察員等関係者以外は立ち入ることができない。
- (2) 荒天時他不測の事態が生じた場合の取扱いは、主催者において別途決定する。
- (3) その他、監督会議において、申し合わせ事項を設けることができる。